



# 先進都市現地視察 ～松本市における松本城を活かしたまちづくり～

群馬県 県土整備部 都市計画課

令和4年11月18日(金)に、長野県松本市で群馬県都市計画協会主催の先進都市現地視察を実施しました。3年ぶりの開催となった今回の視察には6市4町総勢31名にご参加いただき、松本城の周辺のまちづくりについて学んできました。



事業説明



松本城

## ■ 松本市 松本城周辺のまちづくり

松本市は長野県のほぼ中央に位置する長野県内で2番目の(人口の)都市です。北アルプス、上高地などの雄大な自然を有する一方、旧開智学校と松本城の二つの国宝があり、城下町として栄えた歴史文化のあるまちです。まちのシンボルで松本城を中心にハードとソフト両面で先進的なまちづくりに取り組んでいます。



大手門跡

松本駅と松本城とあがたの森公園の3点を結んだ中心市街地を主な整備計画区域として、都市構造再編集中支援事業を活用した基幹博物館整備、基幹道路整備、お堀の復元などを行っています。また、地区内に点在する拠点と有機的に結ぶ道路等の拡幅、歩道整備に伴う高質化を推進し、歩行者を意識した回遊性の高いまちづくりを進めています。

二つの国宝を有する松本城及び旧開智学校周辺においては「誰かに語りたくなる暮らし」を合い言葉に、公民が連携して実現するエリアの目指す姿を描いた松本城三の丸エリアビジョンを令和3年度に策定し、令和4年度より実現に向けた取組を段階的に開始しています。



松本市基幹博物館



環状線北整備事業



南・西外堀復元事業

公共空間の活用にも力を入れており、街場のえんがわ作戦(コロナ占用特例・歩行者利便増進道路)を実施して新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等を支援しました。地元団体から要望のあった路線を指定する、1年目の占用料100%減免するなど独自の取組で制度活用促進に努めています。

民間と行政それぞれが志と責任をもち適切な役割分担によりまちづくりをしていると感じました。



街場のえんがわ作戦